

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第49週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は、第35週以降増加傾向にあり、第48週は微減したものの、第49週は再び増加した / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5

< 感染性胃腸炎 > 今シーズンは過去5年間の同時期と比較して、定点当たり報告数は低いレベルにあるが、第49週は前週よりも急激に増加している



病原体情報  
P.6-8

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2004/05シーズン / 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス 2004年まとめ



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報  
P.9

ドイツ: 2003年以降3例目のウエストナイルウイルス(WNV)感染可能性輸入患者



感染症の話  
P.10-12

< ジアルジア症 >  
*Giardia lamblia*の感染によって引き起こされる下痢性疾患である



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(49週)  
P.13-19



49週のデータ  
P.20-29



# 発生動向総覧

\*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第49週コメント > 12月9日集計分

## 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症:報告なし

2類感染症:細菌性赤痢 7例(推定感染地域:国内2例、ペルー2例、インドネシア1例、インド/タイ1例、ネパール1例)

腸チフス 1例(推定感染地域:中国(香港))

パラチフス 1例(推定感染地域:中国)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 38例(うち有症者24例)

報告の多い都道府県:島根県(7例)、岩手県(3例)、福島県(3例)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(10例)、O157 VT2(8例)、O26 VT1(5例)、O111 VT1・VT2(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、その他(12例)

年齢:10歳未満(16例)、10代(6例)、20代(5例)、30代(5例)、50代(3例)、60代(2例)、70歳以上(1例)

4類感染症:つつが虫病 18例(秋田県2例、神奈川県2例、岐阜県2例、高知県2例、大分県2例、青森県1例、栃木県1例、千葉県1例、静岡県1例、佐賀県1例、長崎県1例、熊本県1例、鹿児島県1例)

デング熱 1例(推定感染地域:マリ)

レジオネラ症 2例(ともに60代)

E型肝炎 1例(推定感染地域:国内、推定感染源:不明)

5類感染症:アメーバ赤痢 3例

推定感染地域:国内2例、不明1例

推定感染経路:性的接触(同性間)2例、不明1例

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)

後天性免疫不全症候群 14例(無症候12例、AIDS 1例、その他1例)

推定感染経路:性的接触13例(異性間3例、同性間10例)、不明1例

推定感染地域:国内12例、国内/タイ1例、不明1例

ジアルジア症 1例(推定感染地域:インド/タイ)

梅毒 10例(早期顕症I期4例、早期顕症II期1例、晩期顕症2例、無症候3例)

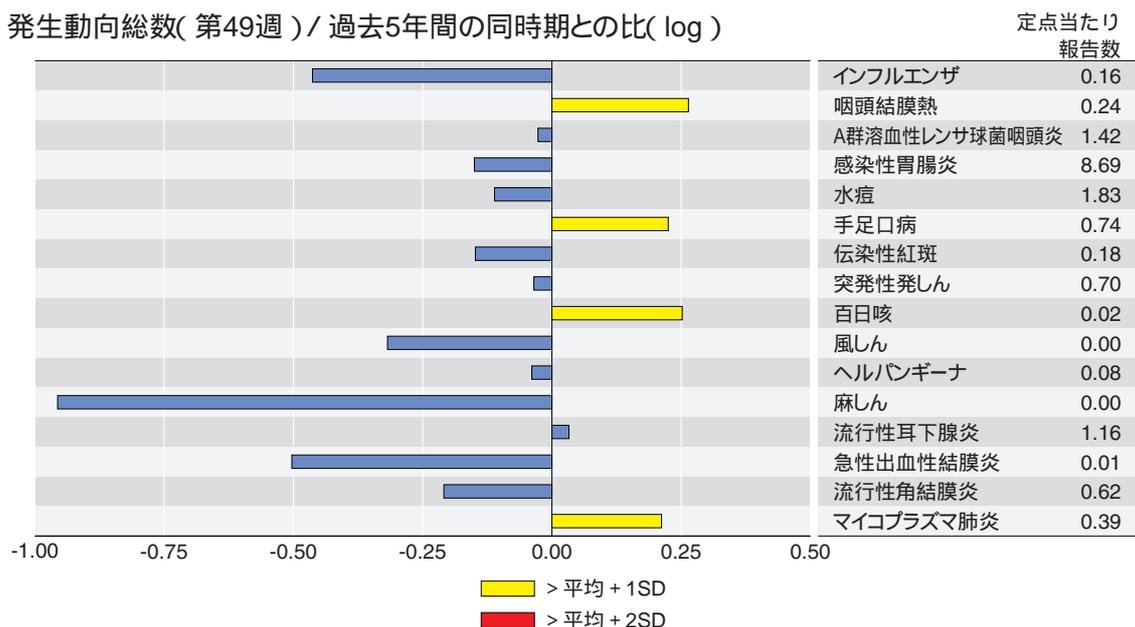
急性脳炎 2例(ともに病原体不明、10代1例、50代1例)

(補)他に、梅毒1例の報告があったが削除予定。また、報告遅れとして、急性脳炎4例〔HHV-6 1例(1歳)、病原体不明3例(30代1例、50代1例、70代1例)〕の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数( 第49週 ) / 過去5年間の同時期との比( log )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

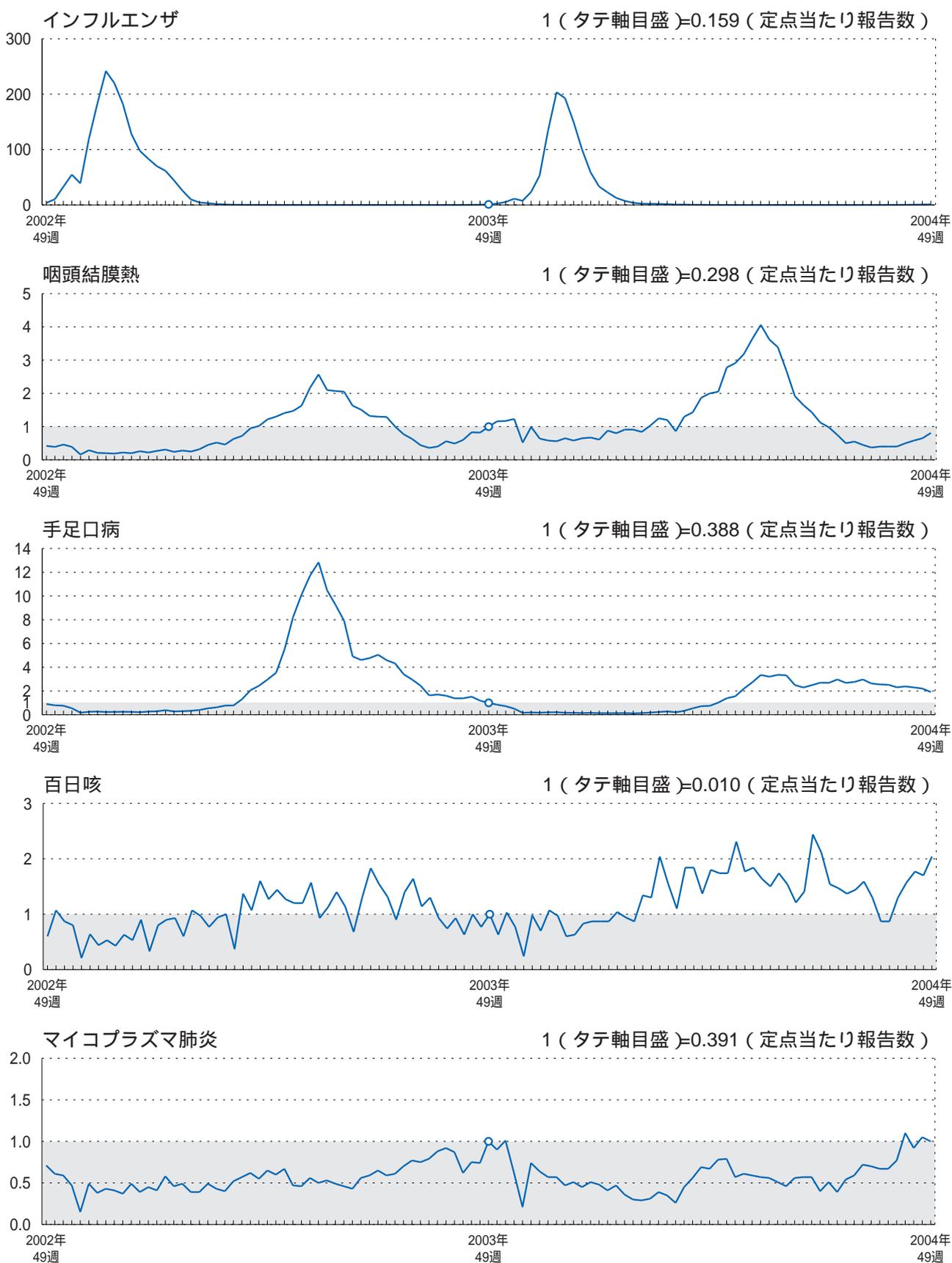
**インフルエンザ定点報告疾患**：インフルエンザの報告数は引き続き増加しているが、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )との比較では低いレベルを維持している。都道府県別では群馬県( 0.7 )、千葉県( 0.6 )、岡山県( 0.6 )が多く、特に群馬県は前週よりも10倍以上の増加を示している。宮城県( 0.7 )からの報告については修正される予定である。

**小児科定点報告疾患**：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、第29週に過去10年間で最高の定点当たり報告数を記録した後は減少に転じ、前年と同様に第42週に最低値となり、その後は緩やかな増加が続いている。都道府県別では北海道( 1.0 )、佐賀県( 0.7 )、山口県( 0.7 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第35週以降は増加傾向にあり、第48週は微減したものの、第49週は再び増加した。都道府県別では、山形県( 3.4 )、福岡県( 3.1 )が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は過去5年間の同時期との比較では少ないが、第48週よりも1.5倍と増加の速度は速まっている。都道府県別では福岡県( 17.9 )が最も多く、次いで山形県( 13.7 )、大分県( 13.6 )、新潟県( 13.6 )の順となっている。水痘の定点当たり報告数は、第42週からの増加が第49週も継続している。都道府県別では和歌山県( 4.5 )、宮崎県( 4.5 )、福井県( 3.8 )が多い。また、年齢では6歳以下が全体の90%以上を占めている。手足口病の定点当たり報告数は第29週まで緩やかに増加した後、微減あるいは横ばい状態が続いている。都道府県別では石川県( 2.8 )、宮崎県( 2.7 )が多い。百日咳の定点当たり報告数は第44週から増加傾向にあり、第49週には過去5年間の同時期と比較して最多となった。都道府県別では島根県( 0.3 )、福井県( 0.2 )が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、2004年では最多となった。2001年の流行のために、過去5年間の当該週と比較すると特別多いとはいえないが、2002年以降では最も多い。年齢では4歳児、5歳児の発症が多く、都道府県別では福井県( 5.0 )、佐賀県( 4.0 )が多い。RSウイルス感染症の総報告数は、42都道府県から789例の報告があり、第48週の506例と比べて大きく増加した。第46週以降、報告数の増加速度は大きくなっている。都道府県別では、大阪府( 95例 )、福島県( 85例 )からの報告が多い。

**基幹定点報告疾患**：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第46週に2004年の最高値を記録したが、その後も過去5年間の同時期と比較してやや多い状態が続いている。都道府県別では岡山県( 2.8 )、山口県( 1.7 )が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き( 第49週 )

2003年第49週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





# 注目すべき感染症

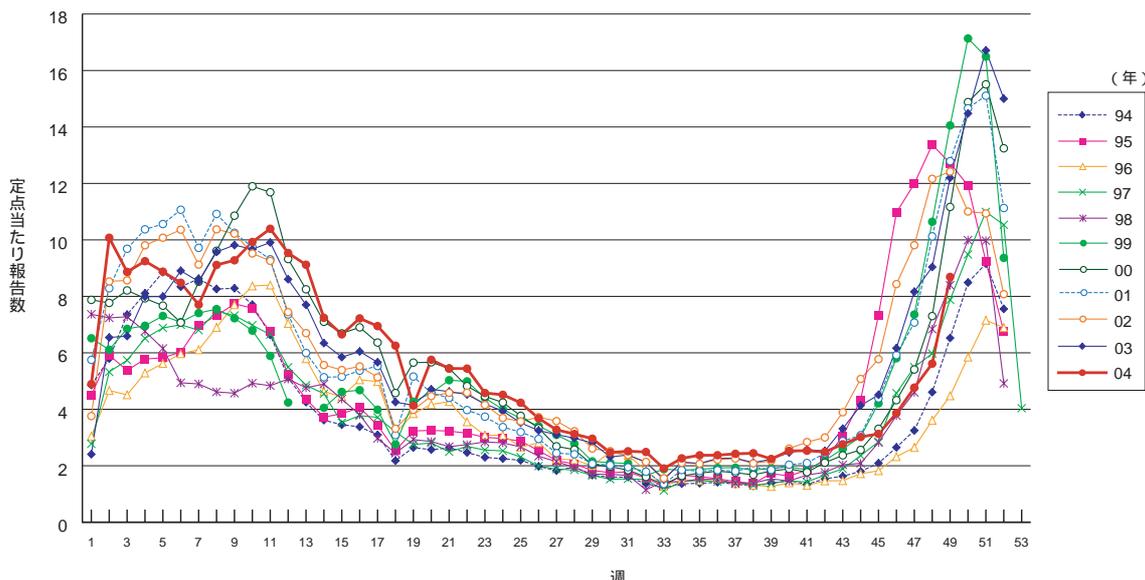
## 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因を包含する疾患群であり、小児科定点からの報告に基づいている。夏季はサルモネラ、腸炎ピブリオ、下痢原性大腸菌などの細菌感染による疾患が問題となることが多いが、実際に定点当たり報告数が増加するのは冬季であり、その多くはウイルス感染によるものである。

冬季の感染性胃腸炎の流行は、ノロウイルスを中心とするピークが毎年第50週前後にあり、その後、ノロウイルス感染症の漸減とロタウイルス感染症の増加によるゆるやかな山が晩冬に存在する( IDWR2004年第15週病原体情報参照 )。これまで気温がそれ程低下していないためか、今シーズンは過去5年間の同時期と比較して、定点当たり報告数は低いレベルにあるが、第49週は前週より急激に増加しており、ノロウイルス感染症が今シーズンのピークを迎えつつあるものと考えられる( 図 )。

ノロウイルスを原因とする胃腸炎は、牡蠣などの二枚貝の生食によって感染・発症することが知られているが、ウイルスの感染力は強く、患者由来の吐物・下痢便との接触や、患者との直接接触によるヒト - ヒト感染による伝播も多い。特に、ノロウイルスに感受性の高い乳幼児・学童や高齢者等の集団生活施設においては、しばしば集団感染する場合がある。このような施設では必要に応じて有症状者を隔離し、吐物・下痢便の適切な消毒・処理を行い、また配膳・食事前の十分な手洗いをを行うことなどが必要である。

図. 感染性胃腸炎の週別発生状況( 1994年 ~ 2004年第49週現在 )





## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2004年12月10日現在報告分 )

### インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

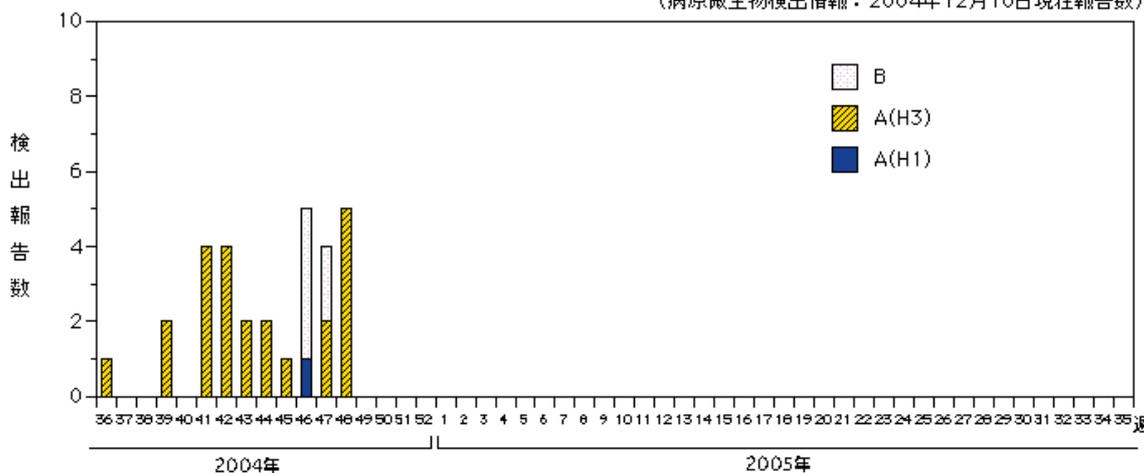
AH3型23件、B型6件、AH1型1件の分離・検出が報告されている。AH3型は大阪府7( 第39週1、第41週4、第43週1、第44週1 ) 東京都5( 第42週4、第43週1;うち3件はPCRによる検出 ) 兵庫県4( 第47週1、第48週3;うち3件は小学校の集団発生事例 ) 千葉県3( 第47週1、第48週2 ) 愛知県2( 第36週1、第39週1;いずれも海外渡航歴あり ) 奈良県1( 第44週 ) 岡山県1( 第45週 ) の分離・検出が報告されている。

B型は、第46週に兵庫県の小学校で起きた集団発生事例から4件( いずれもB山形系統;IDWR2004年第47号11ページ速報記事参照 ) 第47週に愛知県から2件の分離が報告されている。

AH1型の1件は、岡山県の幼稚園で起きた集団発生事例で、11月12日( 第46週 ) に採取された5歳男児の検体からの分離である( IDWR2004年第47号10ページ速報記事参照 )。

#### 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2004/05シーズン

( 病原微生物検出情報：2004年12月10日現在報告数 )



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

### 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

小型球形ウイルス( SRSV )が49件報告されている。このうち、ノロウイルスgenogroup( G )IIが36件で、大阪府19( うち4件は第43週の小児集団発生事例; IDWR2004年第46号14ページ速報記事参照 )、滋賀県7( 第44、45週; すべて病院における集団発生事例 )、岩手県4( 第46週; 台湾へのツアー帰国後に起きた集団発生事例 )、東京都2( 第41週2 )、福岡県2( 第48週2 )、広島県1( 第48週 )、愛媛県1( 第43週 )が報告されている。また、ノロウイルスGIが愛媛県の小児散発例から1件( 第39週 )、ノロウイルス( G不明 )が5件( 新潟県4、東京都1 )、サポウイルスが三重県の小児散発例から4件( 第41週2、第43週2 )、電顕による検出が3件( 広島県2、栃木県1 )報告されている。

ロタウイルスは2件で、第43週に大阪府から1件、第45週に秋田県から1件が報告されており、いずれもA群の散発例である。

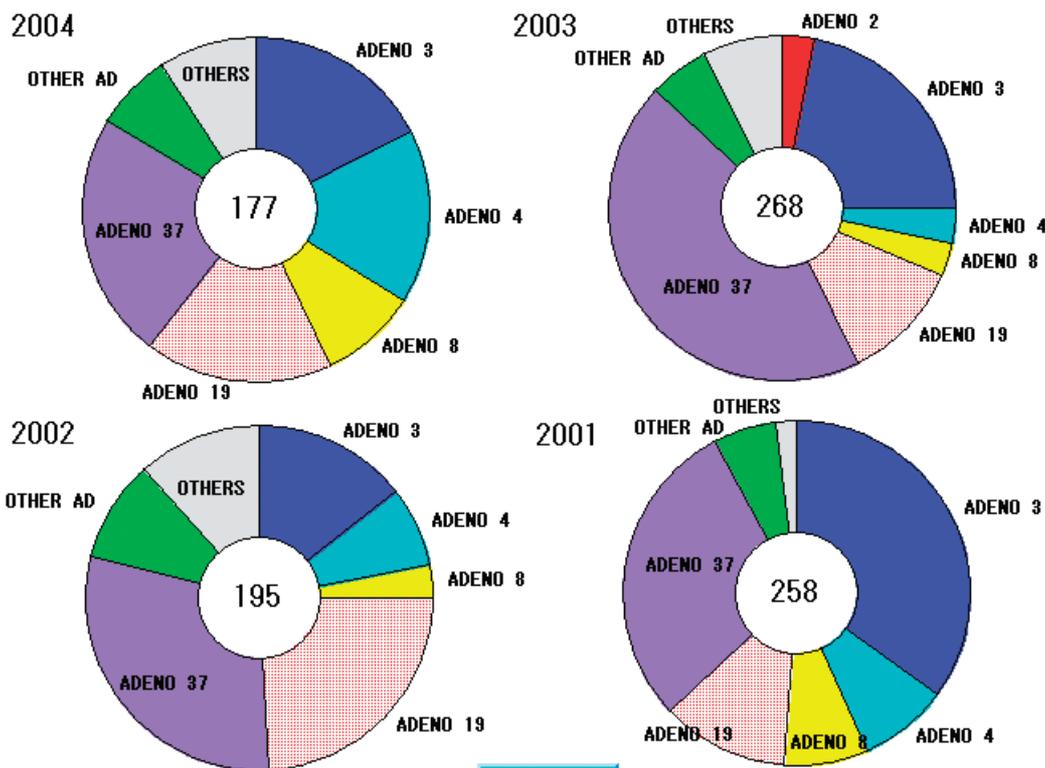
### 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス 2004年まとめ

これまでに分離・検出が報告されたウイルス総数は177件で、昨年( 2003年 )の268件を下回っている。昨年はアデノウイルス37型( Ad37 )が118件( 44% )で最も多く、次いでAd3が59件( 22% )、Ad19が31件( 12% )の順であったのに対し、今年もAd37が41件( 23% )で最も多いが、全体に占める割合が減少した。次いでAd3とAd19がともに31件( 18% )、Ad4が29件( 16% )で、昨年9件だったAd4の増加が目立っている。この他に、Ad8が16件、Ad1が2件、Ad11が1件、A群コクサッキーウイルス24型変異株( CA24v )が2件報告された。

Ad37は北海道10、福井県10、岩手県4、熊本県4など12都道府県から、Ad3は北海道8、岩手県6など12都道府県から、Ad19は岩手県10、群馬県6、神奈川県6など8都道府県から報告された。Ad4は6都道府県から29件が報告され、うち19件は群馬県からの報告であり、第4～15週に集中した。また、CA24vは第35週に神奈川県から1件、第39週に大阪府から1件( 海外渡航歴あり )が報告された。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス、2001年～2004年

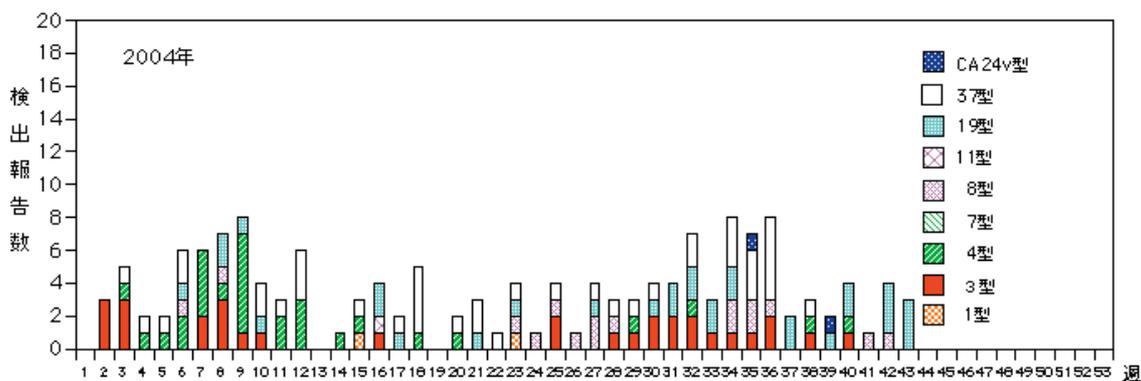
(病原微生物検出情報：2004年12月10日現在報告数)



Infectious Agents Surveillance Report

週別流行性角結膜炎患者からのアデノウイルス等分離報告数、2004年

(病原微生物検出情報：2004年12月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### ドイツ: 2003年以降3例目のウエストナイルウイルス( WNV )感染可能性輸入患者

Eurosurveillance Weekly 2004 ; 8 ( 5 ) 12月8日

ドイツ国内において、( 感染した ) 渡り鳥を吸血した蚊族の刺咬によるウエストナイルウイルス ( WNV ) 感染伝播の可能性は存在するが、こうした感染伝播はこれまで報告されていない。WNV 感染有病率の高い地域からの帰国者での輸入患者の可能性もある。2003年には、ザクセン地方在住の77歳男性とバイエルン地方在住の51歳女性が、米国のWNV感染有病率の高い地域から帰国した後にWNV感染を発病した。3例目のWNV感染可能性例が最近確認されたため、ここに報告する。

ワイマール地方出身の77歳女性は、2004年9月4日から10月4日までの米国カリフォルニア州への観光旅行中の9月20日に発病した。この女性は発熱を伴う急性脳炎を発症し、数日間にわたり継続的な意識障害を来した。患者は、米国内の病院で9月20日から30日まで加療され、WNV感染が疑われた。ドイツに帰国後も記憶障害や筋力低下などの症状が持続し、10月11日に病院を受診した。血清学的検査結果からは、急性WNV感染が示された。すなわち、血清と脳脊髄液のELISA法による抗フラビウイルスIgM抗体が陽性となり、赤血球凝集法により抗WNV-IgG抗体価が脳脊髄液で160倍陽性、血清で2,560倍から5,120倍と( 高力価 ) 陽性であった。

検査結果、臨床症状、現病歴( 患者はWNV流行地域滞在中に昆虫による刺咬を報告した ) からはWNV感染の可能性が非常に高いが、更なる確定診断の検査結果待ちとなっている。患者は現在、リハビリテーションクリニックにおいて回復中である。

ELISA法と赤血球凝集法の2つの検査法で抗体陽性との結果は、その他のフラビウイルスや、ある種の予防接種( 例えば、黄熱、ダニ媒介性脳炎、日本脳炎やセントルイス脳炎 ) によっても生ずることがあり、これらいずれかの病原体の予防接種や感染がこうした患者の原因になっているかどうかを決定する必要がある。今回の患者は1992年に黄熱ワクチンの接種を受けている。現在ドイツではRobert-Koch研究所においてのみ実施されている中和試験が今後必要であり、直ちに実施される予定である。

ドイツでは現在、ウエストナイル熱は届出義務がないため、患者は「保健上の脅威事例」として届け出られている。



## 感染症の話

### ジアルジア症

*Giardia lamblia*の感染によって引き起こされる下痢性疾患である。本症の感染経路はいわゆる糞口感染で、ヒトとヒトの接触や食品を介した小規模集団感染と、飲料水を介した大規模な集団感染が知られている。*Giardia*の種名については混乱があるが、わが国では慣例的に*G. lamblia*を用いており、当面は形態的に*G. lamblia*とみなされる原虫に対して、一律に病原性があるものとして扱うこととしている。

#### 疫学

ジアルジア症の感染者数は世界中で数億人に達するとされる。*G. lamblia*は地球規模で見ればごくありふれた腸管系原虫である。世界中のほとんどの国で有病地を抱えており、特に熱帯・亜熱帯に多く、有病率が20%を超える国も少なくない。わが国では戦後の動乱期( 1949 ~ 1956年 )に感染率が3 ~ 6%であったとされている。多くの感染症が衛生環境の改善とともに姿を消していったことは周知のことであるが、ジアルジアの感染率も次第に低下し、今日の都市部での検出率は0.5%を下回る程度となっている。

感染のリスク要因は海外、特に発展途上国への旅行と男性同性愛とされる。海外旅行での感染症例では赤痢菌、下痢原性大腸菌や赤痢アメーバなどとの混合感染例が少なくない。一方、水系感染による集団発生事例が先進諸国で問題となっている。これには都市化など社会形態の変化に伴って、水の再利用が進んだことが大きく影響している。

なお、感染症法施行から2003年12月までに届けられたジアルジア症例数は、年間100例前後である。このうち6割以上が海外での感染と推定され、また、集団感染事例は知られていない。

#### 病原体

病原体は*G. lamblia*で、ランブル鞭毛虫とも呼ばれる。その生活史は栄養型と嚢子よりなる。栄養型虫体は洋ナシ型で、長径10 ~ 15  $\mu\text{m}$ 、短径6 ~ 10  $\mu\text{m}$ 程度の大きさである( 図1 )。虫体腹部の前半部は、腸の粘膜などへ吸着するための吸着円盤が発達している。その他、常時2核であること、4対の鞭毛を持つなど、栄養型は特徴的な形態を有している。経口的に摂取された嚢子は胃を通過後、速やかに脱嚢して栄養型となり、十二指腸から小腸上部付近に定着する。寄生が胆道から胆嚢に及ぶこともある。嚢子は長径8 ~ 12  $\mu\text{m}$ 、短径5 ~ 8  $\mu\text{m}$ の長楕円形で、4核となり、他に軸子、鞭毛などが観察される( 図2 )。嚢子は糞便中に排泄された時点で成熟型となっており、感染性を有している。通常、ジアルジアの嚢子は外界の環境によく耐え、報告によって異なるが、水中で3カ月以上生存し、感染性を持続したという記録がある。ヒトでの実験では、10 ~ 25個の嚢子の摂取により感染が成立している。



図1. *Giardia lamblia*の栄養型虫体  
ギムザ染色像

なお、*Giardia*の種名については混乱があり、ヒト由来株に関しては*G. lamblia*、*G. intestinalis*、あるいは*G. duodenalis*が用いられている。また、他の哺乳動物から分離された株の同一形態種もそれぞれ別名で報告されている。これらはすべて同一種とみなすべきで、命名規約上は*G. intestinalis*に先取権があるとの考えがある。近年、ヒトへの感染は特定の遺伝子型の原虫に限られていることが明らかとなっている。



図2. *Giardia lamblia*の嚢子  
a: 微分干渉像、b: コーン染色像

### 臨床症状・徴候

現在、わが国でみられるジアルジア感染者の多くは発展途上国からの帰国者( 来日者 )であり、特にインド亜大陸からの帰国者での下痢症例で検出率が高い。さらに、男性同性愛者間にも本原虫の感染がみられることがあり、しばしばHIV感染者に原虫が証明される。ジアルジア症は過去数十年間にわたって、わが国では忘れ去られた感染症の1つであったが、免疫不全者の感染、水系感染による集団発生事例などから、重要な再興感染症の1つとしての認識が必要である。

ジアルジア症の主な臨床症状としては下痢、衰弱感、体重減少、腹痛、悪心や脂肪便などがあげられる。有症症例では下痢が必発であり、下痢は非血性で水様または泥状便である。排便回数は1日数回 ~ 20回以上と様々であり、腹痛を伴う例と伴わない例が相半ばし、発熱は多くの場合みられない。感受性は普遍的であるが、成人より小児の方が高い感受性を示す。なお、分泌型IgA低下症や低  $\alpha$ -グロブリン血症をもつ患者に発症した場合には臨床症状が激しく、難治性であり、かつ再発性である。感染者の多くは無症状で、便中に持続的に嚢子を排出している嚢子保有者( cyst carrier )であるが、感染源としてはむしろ重要である。

### 病原診断

診断は、患者の糞便( 下痢便 )から顕微鏡下に本原虫を証明することによる。さらに、原因不明の下痢症、脂肪便、あるいはその他の腹部症状を精査する一環として十二指腸液や胆汁を採取し、原虫の検査が行われることもある。糞便中に見られる原虫の形態は、水様便では栄養型が、泥状便や有形便では嚢子を検出することが多い。検査方法は通常の検便か、遠心沈殿法で得られた沈渣をヨード・ヨードカリ染色することで比較的容易に検出できる。海外では、診断用の蛍光抗体試薬が市販されている。なお、栄養体を検出する場合は、希釈液に生理食塩水を用いる。

### 治療・予防

ジアルジアの治療には、メトロニダゾールやチニダゾールなどニトロイミダゾール系の薬剤が用いられる。これらはわが国では抗トリコモナス薬として薬価収載されており、本症に対しては健康保険の適用外である。

ジアルジア症は典型的な糞口感染で、嚢子で汚染された食品や飲料水を介して伝播する。嚢子は感染力が強いため、排泄者に対しては排便後の手洗いの指導が重要である。一般に、嚢子排出者は無症状か下痢症状があっても軽微であり、身の清潔が保てるため、隔離の必要はない。また、嚢子は水中で数カ月程度は感染力が衰えず、小型であるため、浄水場におけ

る通常の浄水処理で完全に除去することは困難とされる。塩素消毒にも抵抗性を示す。したがって、HIV感染者をはじめとする免疫機能低下者は、日常生活の上で生ものや煮沸消毒されていない水道水の摂取などには注意するべきである。

#### 感染症法における取扱い

ジアルジア症は5類感染症全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの。

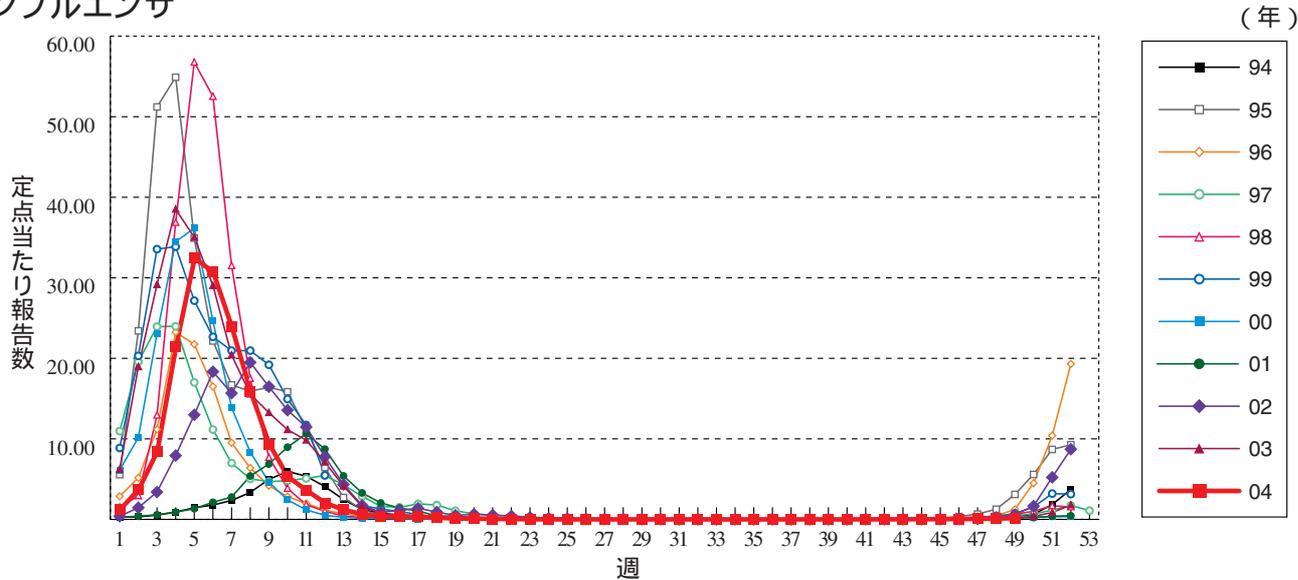
・病原体の検出

例 糞便または十二指腸液などから原虫の証明(鏡検)など

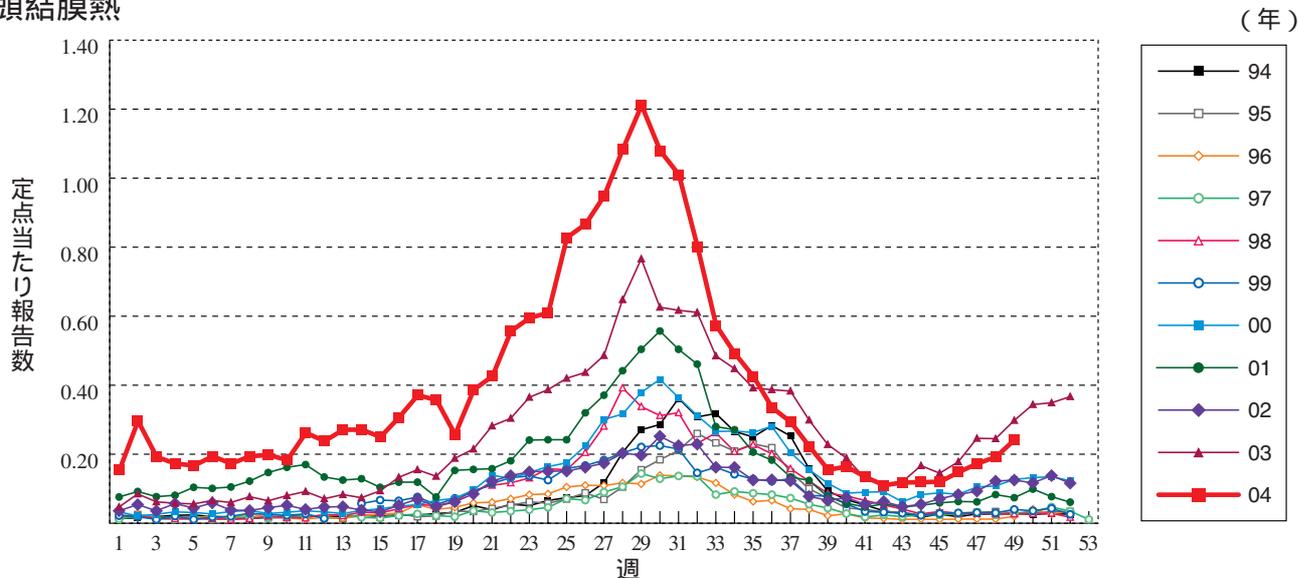
( 国立感染症研究所寄生動物部 遠藤卓郎 )

**グラフ総覧( 49週 )**

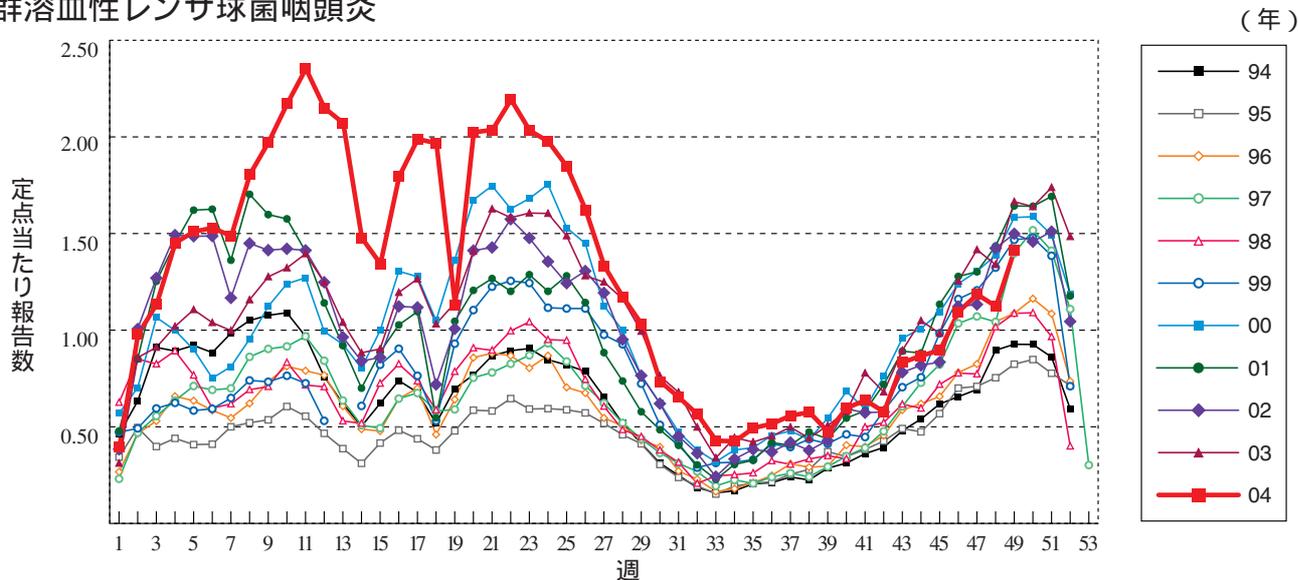
**インフルエンザ**



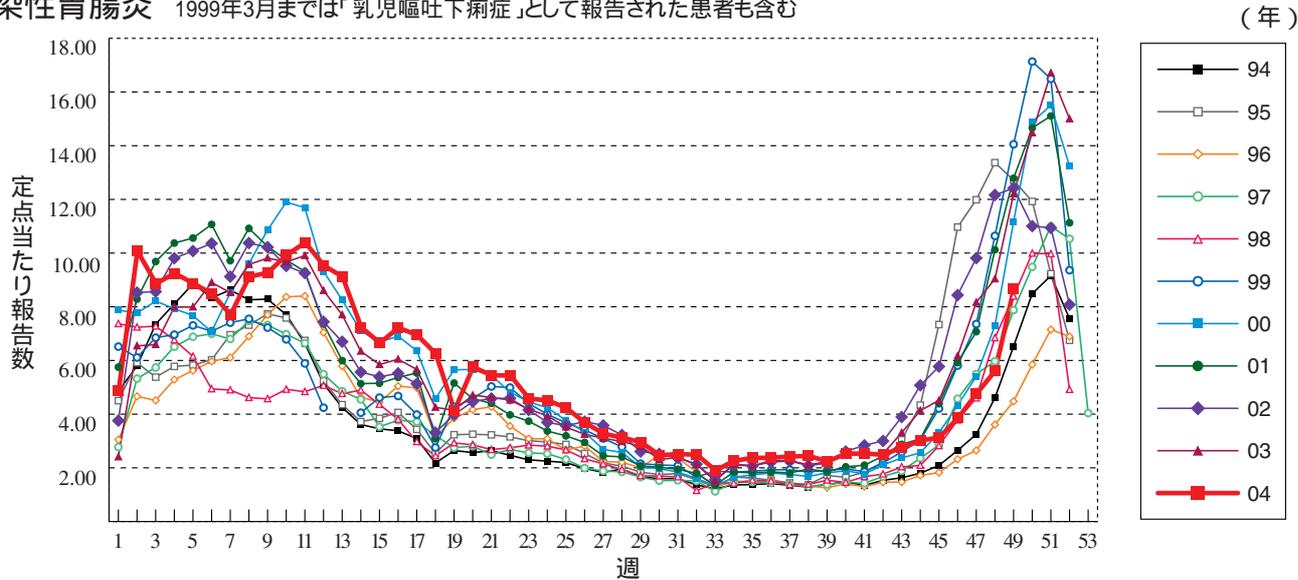
**咽頭結膜熱**



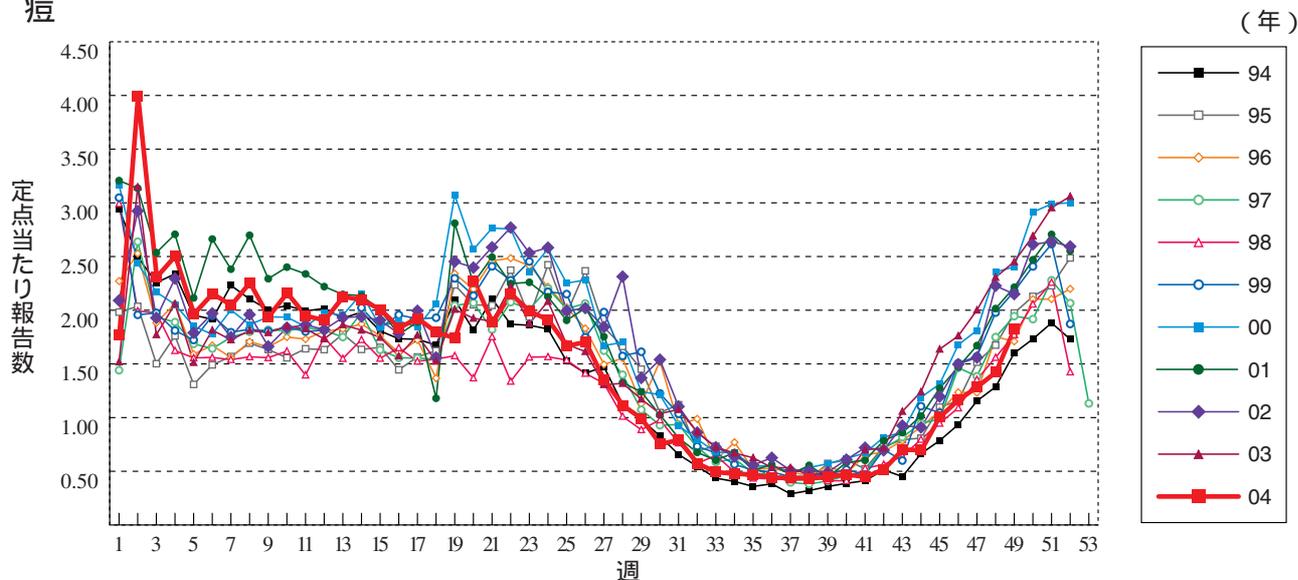
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



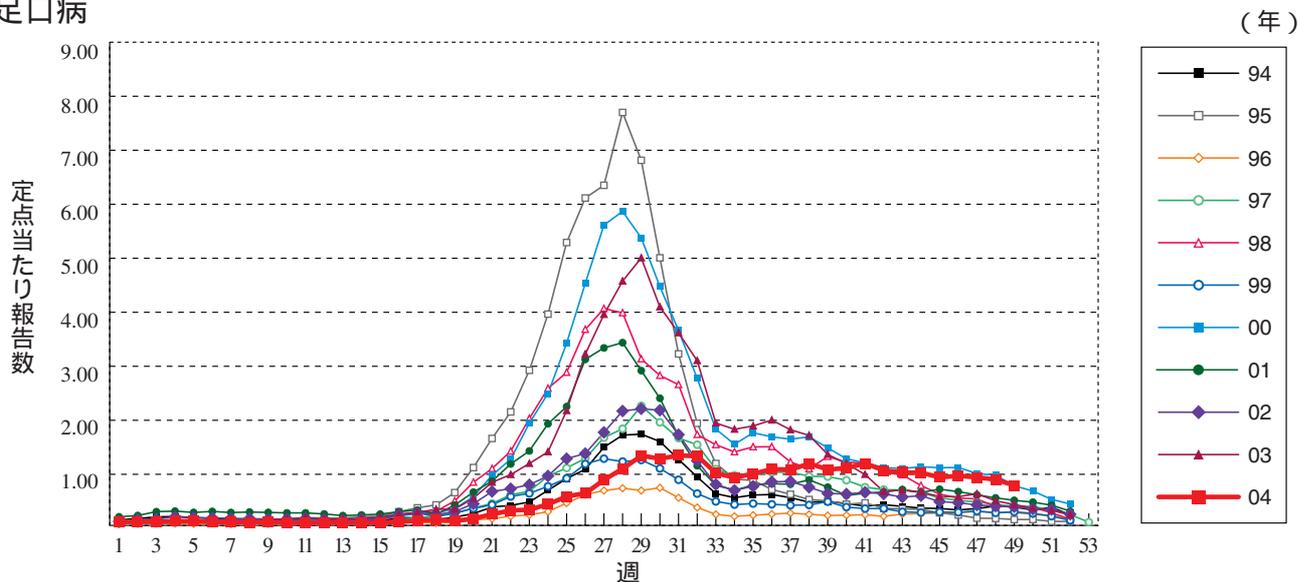
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



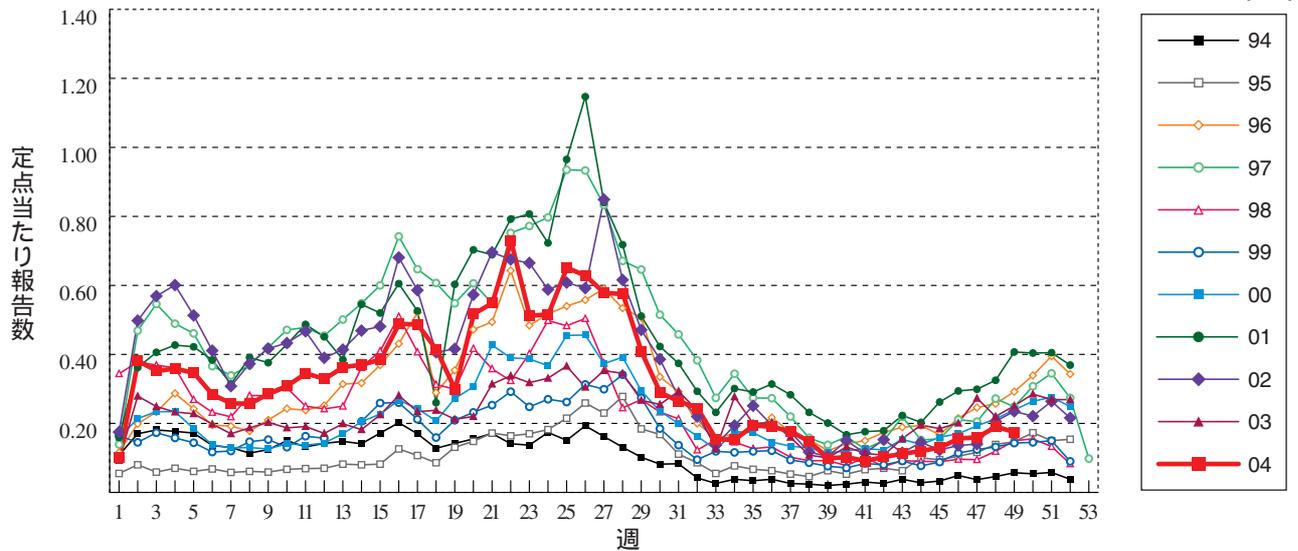
**水痘**



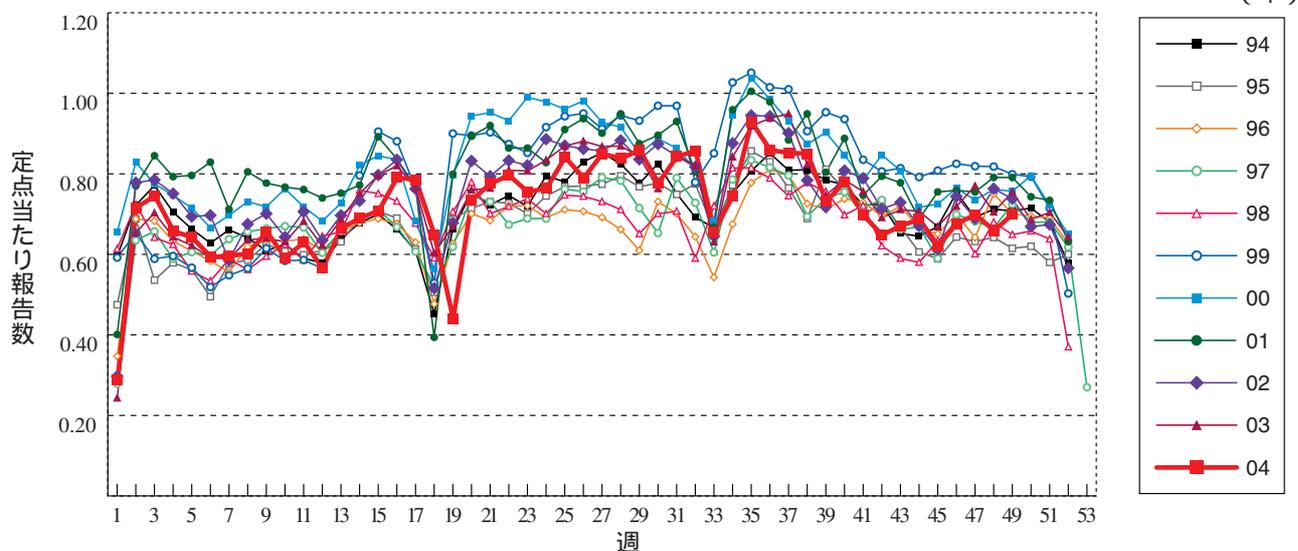
**手足口病**



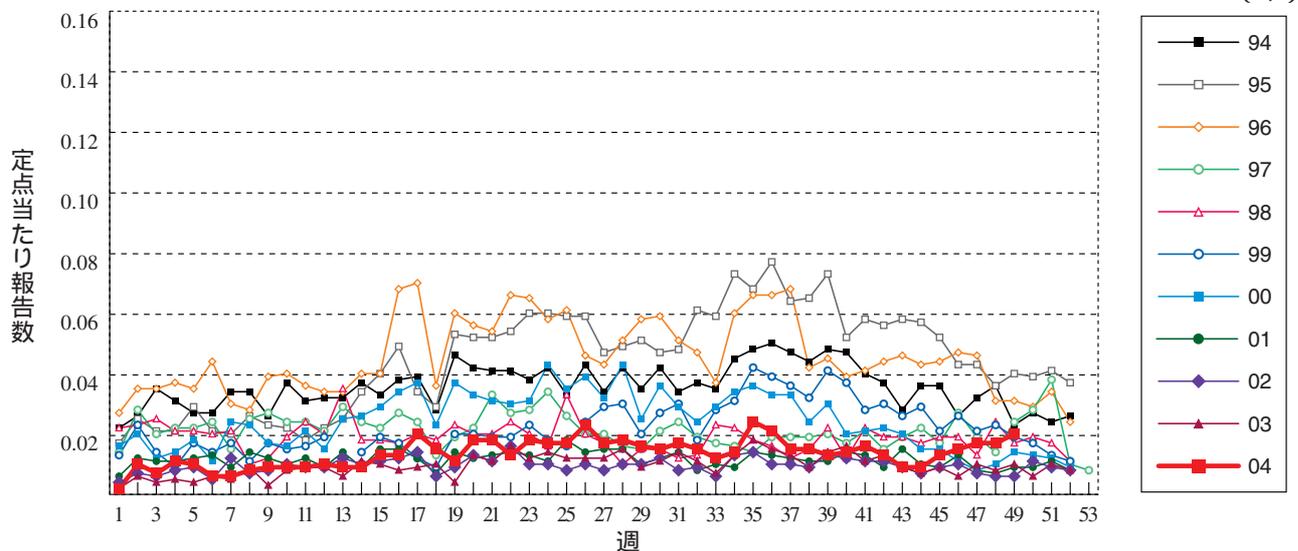
伝染性紅斑



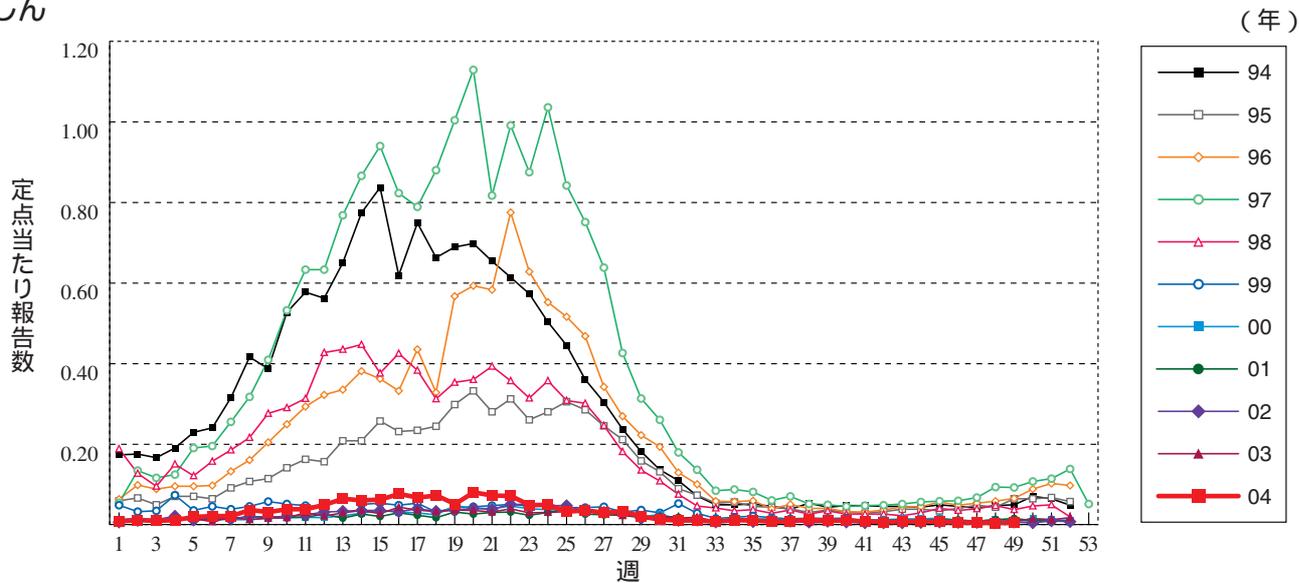
突発性発しん



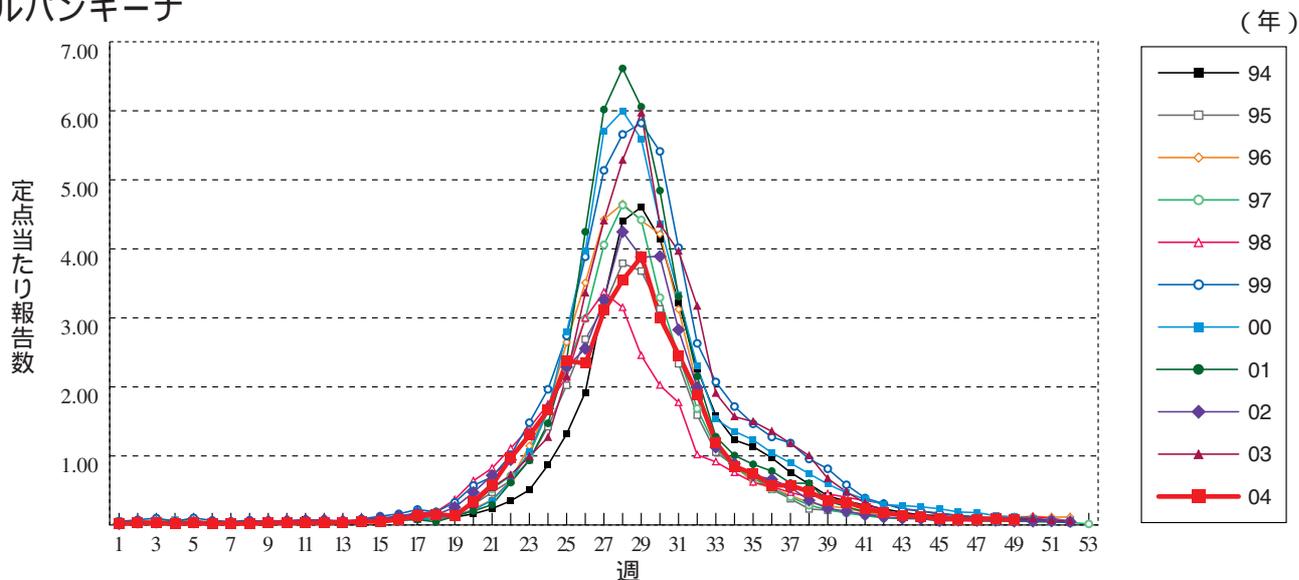
百日咳



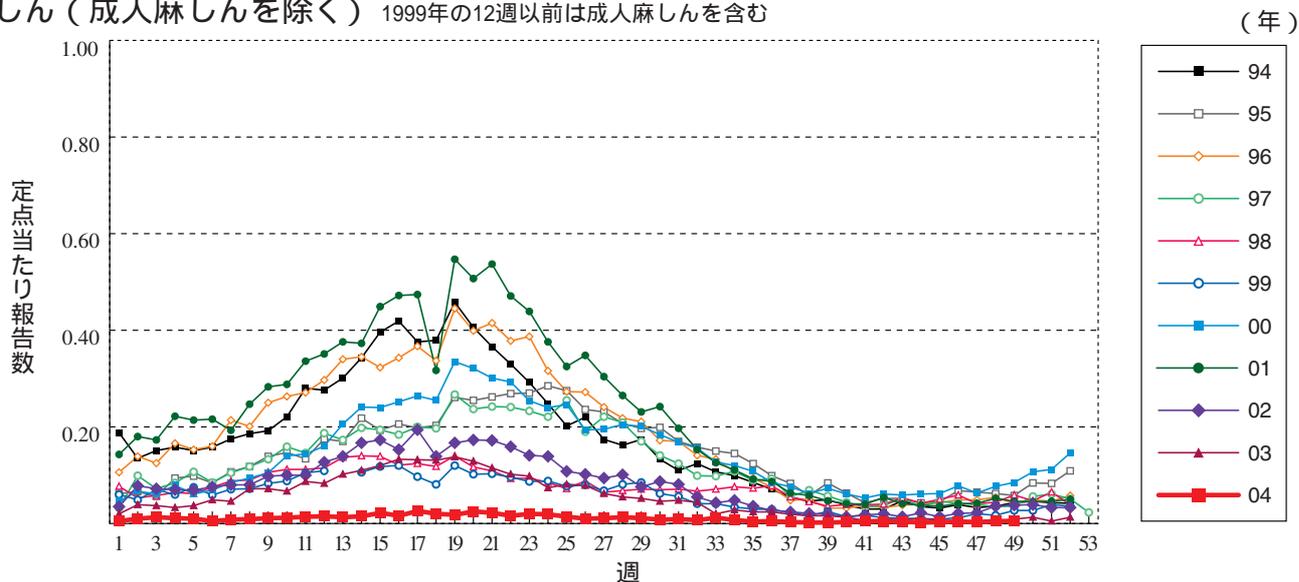
風しん



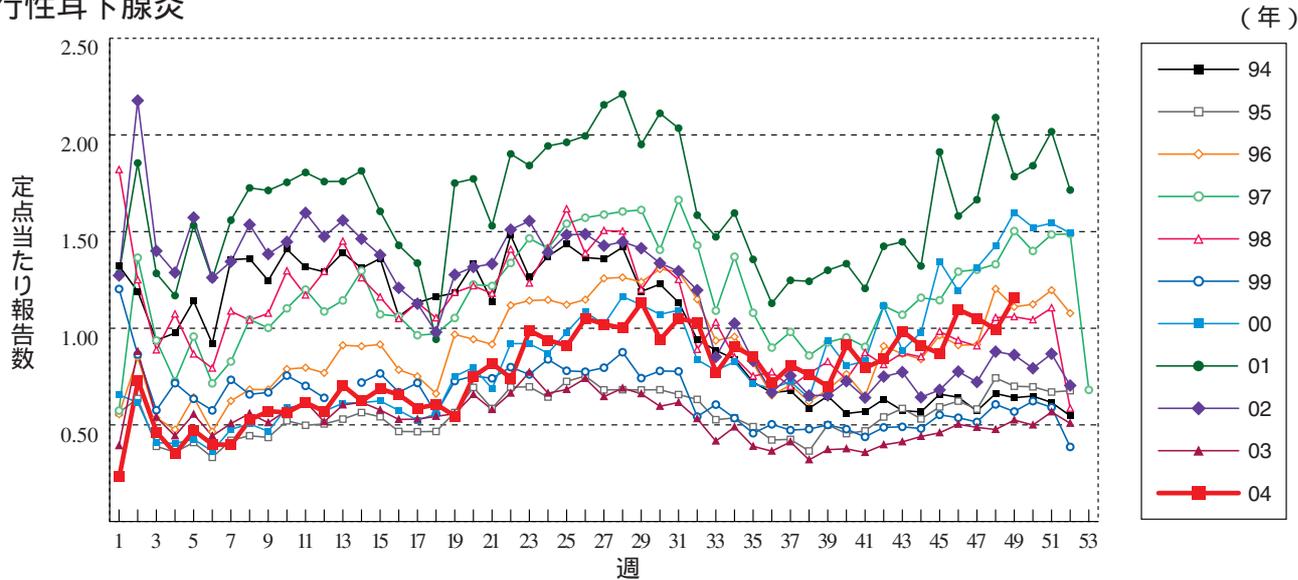
ヘルパンギーナ



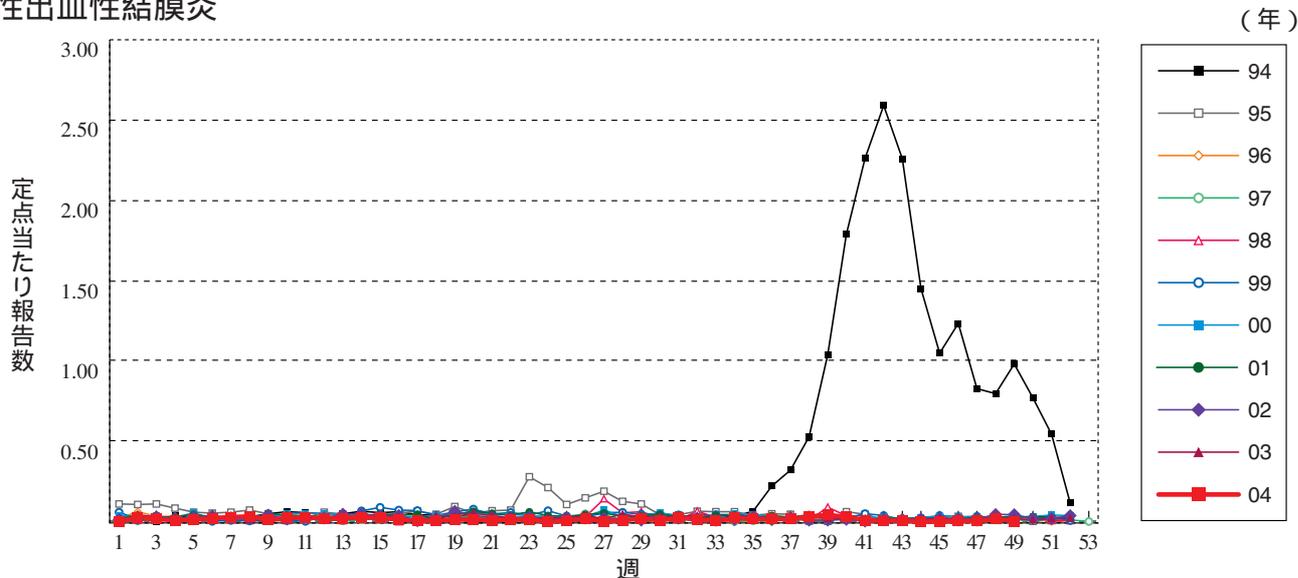
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



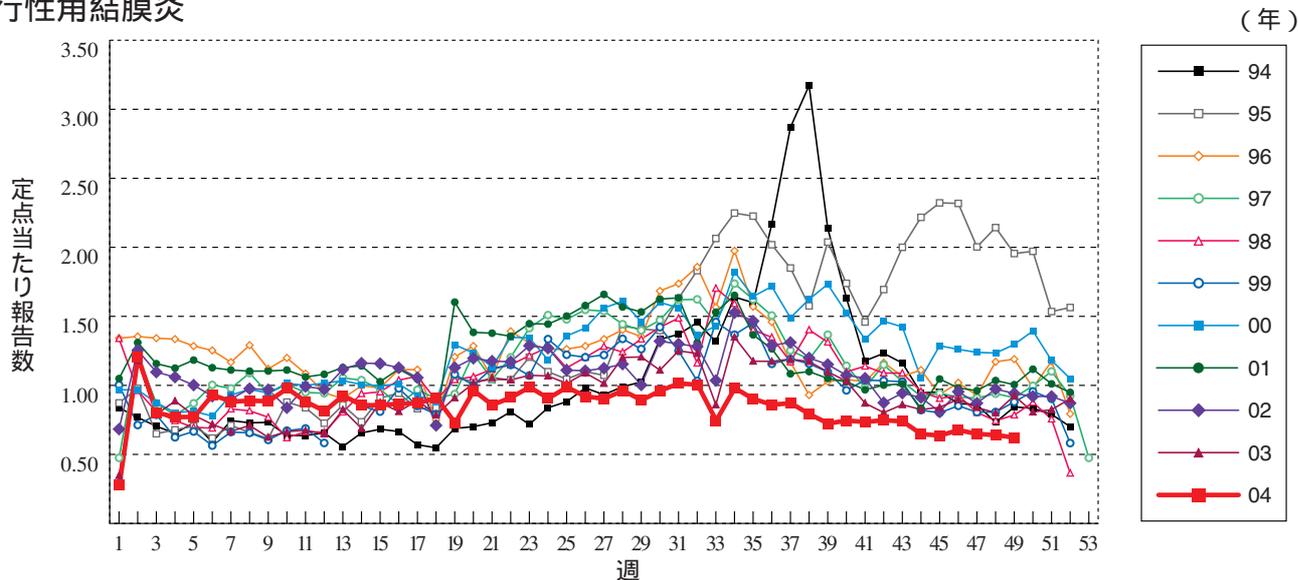
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

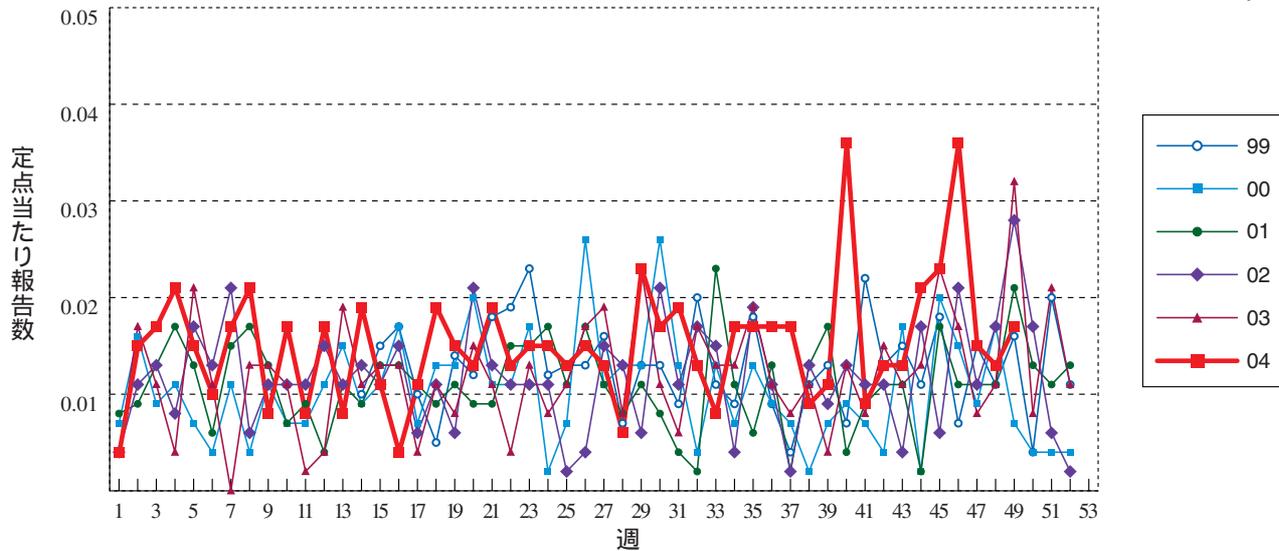


流行性角結膜炎



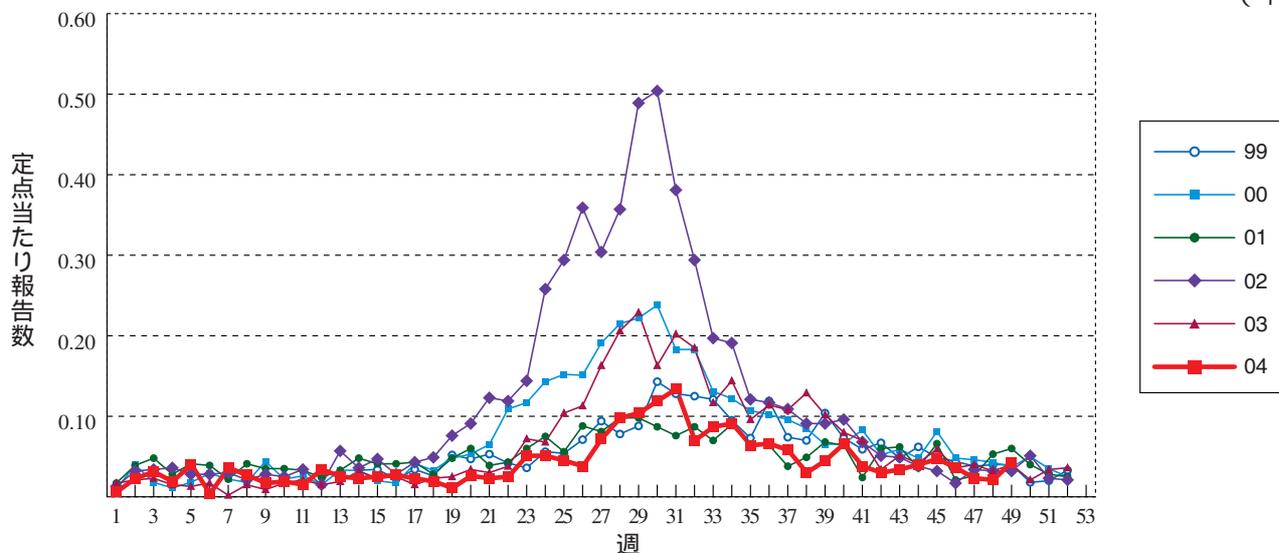
細菌性髄膜炎

(年)



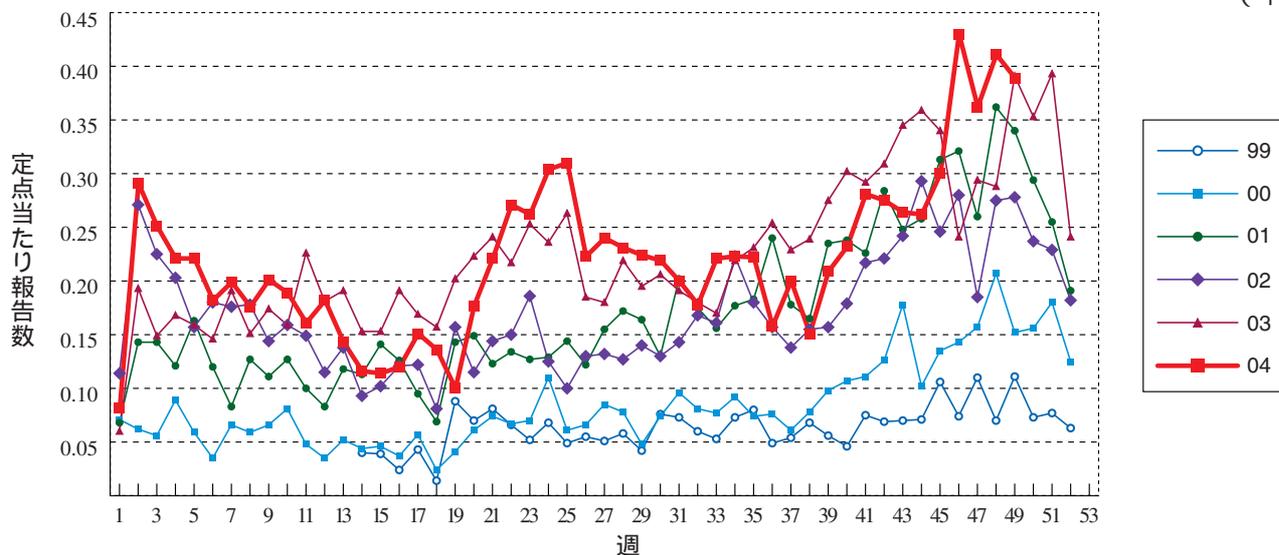
無菌性髄膜炎

(年)



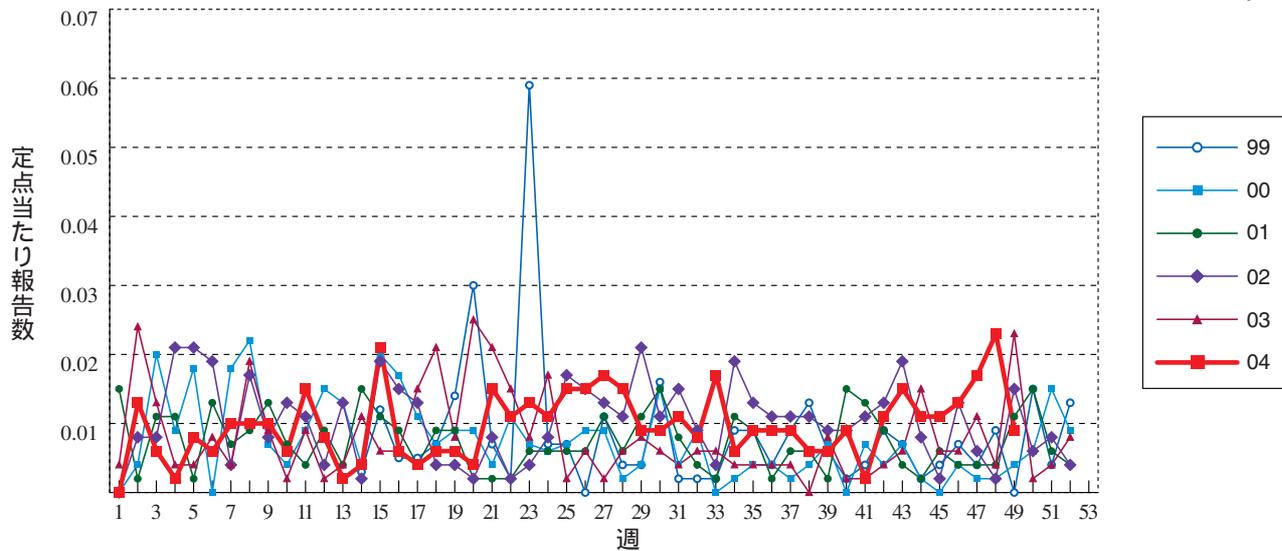
マイコプラズマ肺炎

(年)



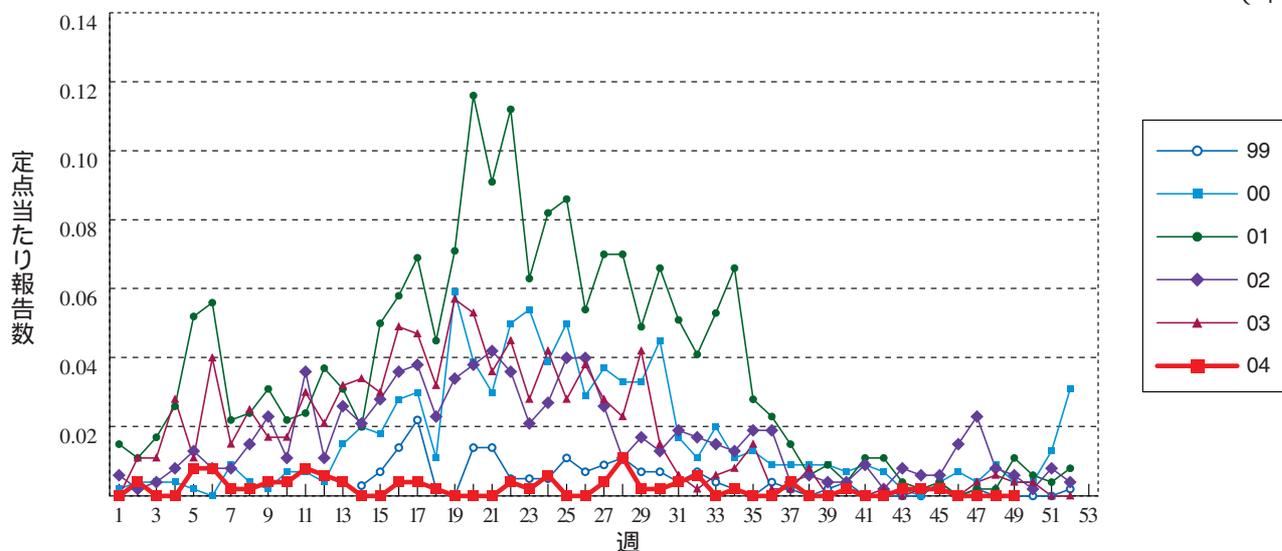
クラミジア肺炎 ( オウム病を除く )

( 年 )



成人麻疹

( 年 )





### 49週のデータ

注)表中の報告数は12月9日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年49週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	7	544	1	64	1	79	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	2	-	3	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	1	-	1	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	28	1	3	-	4	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	39	-	4	-	6	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	4	128	-	17	-	15	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	24	-	5	-	4	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10	-	2	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	9	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	23	-	6	-	9	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	3	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	2	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	46	-	3	-	9	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	23	-	5	-	3	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	3	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	12	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	2	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	1	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年49週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	38	3568	3	534	-	24	-	-	-	38	-	-	-	279
北海道	-	-	-	-	-	68	-	12	-	23	-	-	-	1	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	3	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	2	152	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	2	53	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	3	83	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	23	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	38	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	1	87	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
埼玉県	-	-	-	-	-	78	-	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	2	133	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	-	-	-	-	271	1	127	-	-	-	-	-	3	-	-	-	56
神奈川県	-	-	-	-	1	91	-	26	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
新潟県	-	-	-	-	-	28	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	22	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	173	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	41	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長野県	-	-	-	-	-	61	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	38	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	-	65	-	19	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	159	-	42	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	76	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	21	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	1	64	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	1	245	1	63	-	-	-	-	-	6	-	-	-	30
兵庫県	-	-	-	-	2	161	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
奈良県	-	-	-	-	-	55	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	1	18	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	7	29	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	187	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	1	90	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
山口県	-	-	-	-	1	52	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	2	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	2	63	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	97	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	1	181	-	20	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	70	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	86	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	24	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	1	45	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	2	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	30	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年49週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	-	-	91	1	156	-	52	14	1049	-	6	1	81	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	7	-	2	-	11	-	-	-	3	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	28	-	5	-	1	-	38	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	54	-	5	-	2	-	54	-	1	1	13	-	-
東京都	-	1	-	-	-	8	-	18	-	6	10	383	-	1	-	17	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	-	60	-	1	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	2	7	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	36	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	30	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	66	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	21	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	8	-	5	-	122	-	1	-	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	4	-	24	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	20	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	17	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	3	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年49週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	22	-	9	-	-	18	227	1	44	-	66	-	5	11	480	-	93
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	9	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	14	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	16	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	4	-	-	1	12	-	4
東京都	-	7	-	3	-	-	6	-	27	-	-	-	-	-	1	59	-	2
神奈川県	-	3	-	1	-	-	2	14	-	1	-	-	-	-	-	15	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	4	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	2	17	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	12	-	4
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	3	34	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	14	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	53	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	15	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	1	-	4
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1	1	9	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10	-	-	-	12	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	12	-	-	-	9	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	30	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
熊本県	-	-	-	1	-	-	1	7	-	1	-	-	-	1	-	30	-	2
大分県	-	-	-	1	-	-	2	11	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	20	-	-	-	3	-	-	1	5	-	3
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	1	36	-	-	-	11	-	-	-	11	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年49週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70	-	4	2	145
北海道	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
秋田県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	6
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	18
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	9
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	9
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年49週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	30	-	-	-	129	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	1	5	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年49週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	17	2	147	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-

**全数把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注 )表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年49週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	733	0.16	737	0.24	4308	1.42	26449	8.69	5561	1.83	2255	0.74	533	0.18	2130	0.70	61	0.02
北海道	3	0.01	136	0.95	351	2.45	830	5.80	453	3.17	32	0.22	26	0.18	79	0.55	3	0.02
青森県	1	0.02	-	-	63	1.50	150	3.57	97	2.31	96	2.29	4	0.10	15	0.36	-	-
岩手県	7	0.11	6	0.16	36	0.97	194	5.24	96	2.59	12	0.32	15	0.41	24	0.65	1	0.03
宮城県	60	0.66	16	0.27	106	1.80	300	5.08	201	3.41	90	1.53	34	0.58	47	0.80	-	-
秋田県	1	0.02	20	0.57	35	1.00	166	4.74	92	2.63	12	0.34	5	0.14	21	0.60	3	0.09
山形県	-	-	6	0.20	101	3.37	412	13.73	69	2.30	29	0.97	12	0.40	29	0.97	-	-
福島県	11	0.14	10	0.21	43	0.90	381	7.94	111	2.31	82	1.71	27	0.56	37	0.77	-	-
茨城県	8	0.07	10	0.14	95	1.28	409	5.53	109	1.47	40	0.54	6	0.08	38	0.51	1	0.01
栃木県	3	0.04	4	0.09	46	1.00	322	7.00	84	1.83	16	0.35	10	0.22	22	0.48	4	0.09
群馬県	69	0.69	10	0.16	68	1.10	387	6.24	125	2.02	63	1.02	3	0.05	32	0.52	-	-
埼玉県	19	0.07	49	0.30	231	1.43	1802	11.19	298	1.85	98	0.61	46	0.29	118	0.73	4	0.02
千葉県	135	0.64	19	0.15	200	1.53	988	7.54	229	1.75	161	1.23	18	0.14	96	0.73	1	0.01
東京都	76	0.43	15	0.11	105	0.74	1373	9.67	184	1.30	125	0.88	20	0.14	74	0.52	-	-
神奈川県	43	0.13	68	0.33	205	1.00	1624	7.88	342	1.66	97	0.47	45	0.22	155	0.75	2	0.01
新潟県	7	0.07	12	0.20	95	1.58	813	13.55	117	1.95	33	0.55	8	0.13	49	0.82	-	-
富山県	-	-	11	0.38	84	2.90	350	12.07	33	1.14	15	0.52	6	0.21	15	0.52	-	-
石川県	4	0.08	19	0.66	32	1.10	182	6.28	53	1.83	81	2.79	9	0.31	17	0.59	-	-
福井県	8	0.25	15	0.68	41	1.86	282	12.82	84	3.82	37	1.68	3	0.14	20	0.91	4	0.18
山梨県	-	-	-	-	31	1.24	193	7.72	30	1.20	38	1.52	7	0.28	6	0.24	2	0.08
長野県	1	0.01	8	0.15	137	2.49	454	8.25	110	2.00	23	0.42	5	0.09	35	0.64	1	0.02
岐阜県	36	0.43	8	0.15	35	0.66	258	4.87	91	1.72	7	0.13	2	0.04	32	0.60	1	0.02
静岡県	9	0.07	12	0.14	123	1.43	1102	12.81	116	1.35	40	0.47	6	0.07	70	0.81	-	-
愛知県	29	0.15	38	0.21	196	1.08	1954	10.74	214	1.18	83	0.46	25	0.14	99	0.54	6	0.03
三重県	-	-	16	0.36	57	1.27	413	9.18	90	2.00	65	1.44	8	0.18	43	0.96	-	-
滋賀県	1	0.02	5	0.15	20	0.61	185	5.61	52	1.58	30	0.91	2	0.06	22	0.67	-	-
京都府	19	0.16	1	0.01	56	0.74	529	6.96	88	1.16	59	0.78	4	0.05	50	0.66	2	0.03
大阪府	48	0.16	27	0.14	211	1.08	1719	8.82	215	1.10	75	0.38	20	0.10	162	0.83	4	0.02
兵庫県	15	0.08	32	0.25	141	1.10	1372	10.72	177	1.38	30	0.23	31	0.24	69	0.54	4	0.03
奈良県	-	-	4	0.11	31	0.89	284	8.11	26	0.74	20	0.57	1	0.03	24	0.69	2	0.06
和歌山県	-	-	4	0.13	22	0.71	236	7.61	139	4.48	66	2.13	5	0.16	25	0.81	-	-
鳥取県	4	0.14	1	0.05	50	2.63	200	10.53	36	1.89	32	1.68	-	-	16	0.84	-	-
島根県	1	0.03	7	0.30	23	1.00	88	3.83	42	1.83	43	1.87	1	0.04	28	1.22	6	0.26
岡山県	52	0.62	6	0.11	71	1.31	393	7.28	100	1.85	13	0.24	4	0.07	28	0.52	-	-
広島県	4	0.03	13	0.17	67	0.89	673	8.97	117	1.56	23	0.31	9	0.12	57	0.76	4	0.05
山口県	11	0.16	35	0.71	83	1.69	364	7.43	104	2.12	31	0.63	7	0.14	47	0.96	1	0.02
徳島県	2	0.05	2	0.09	14	0.61	151	6.57	42	1.83	4	0.17	5	0.22	13	0.57	-	-
香川県	2	0.04	5	0.16	51	1.59	142	4.44	63	1.97	74	2.31	2	0.06	14	0.44	-	-
愛媛県	1	0.02	8	0.21	80	2.05	519	13.31	44	1.13	15	0.38	3	0.08	43	1.10	-	-
高知県	5	0.10	5	0.16	86	2.77	92	2.97	47	1.52	10	0.32	-	-	16	0.52	-	-
福岡県	19	0.10	14	0.12	373	3.11	2152	17.93	277	2.31	70	0.58	35	0.29	114	0.95	2	0.02
佐賀県	-	-	17	0.74	33	1.43	75	3.26	51	2.22	2	0.09	23	1.00	27	1.17	-	-
長崎県	5	0.07	1	0.02	88	2.00	235	5.34	53	1.20	15	0.34	1	0.02	35	0.80	1	0.02
熊本県	2	0.02	16	0.33	77	1.57	607	12.39	78	1.59	42	0.86	8	0.16	46	0.94	2	0.04
大分県	5	0.09	3	0.08	91	2.53	489	13.58	51	1.42	14	0.39	11	0.31	31	0.86	-	-
宮崎県	2	0.03	18	0.49	77	2.08	257	6.95	165	4.46	98	2.65	2	0.05	54	1.46	-	-
鹿児島県	5	0.05	4	0.07	36	0.64	295	5.27	104	1.86	96	1.71	8	0.14	24	0.43	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	11	0.32	53	1.56	62	1.82	18	0.53	1	0.03	12	0.35	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年49週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	14	0.00	231	0.08	14	0.00	3523	1.16	7	0.01	396	0.62	8	0.02	20	0.04	183	0.39
北海道	-	-	7	0.05	-	-	119	0.83	-	-	25	0.86	-	-	-	-	8	0.35
青森県	1	0.02	4	0.10	-	-	20	0.48	-	-	7	0.64	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	6	0.16	-	-	14	0.38	-	-	5	0.42	-	-	-	-	13	0.65
宮城県	-	-	7	0.12	-	-	30	0.51	-	-	4	0.36	-	-	-	-	2	0.17
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	2	0.06	-	-	4	0.57	-	-	-	-	4	0.57
山形県	-	-	2	0.07	-	-	39	1.30	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.80
福島県	1	0.02	8	0.17	-	-	48	1.00	-	-	6	0.50	-	-	-	-	7	1.00
茨城県	3	0.04	-	-	-	-	38	0.51	-	-	24	1.50	-	-	-	-	3	0.27
栃木県	-	-	1	0.02	3	0.07	21	0.46	-	-	7	0.58	1	0.14	1	0.14	-	-
群馬県	-	-	8	0.13	1	0.02	76	1.23	-	-	24	1.71	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	11	0.07	2	0.01	270	1.68	3	0.08	27	0.75	-	-	-	-	10	1.11
千葉県	2	0.02	11	0.08	2	0.02	260	1.98	-	-	14	0.40	-	-	-	-	6	0.67
東京都	-	-	5	0.04	2	0.01	132	0.93	-	-	12	0.86	-	-	3	0.12	6	0.24
神奈川県	2	0.01	23	0.11	-	-	230	1.12	-	-	39	0.93	2	0.17	-	-	-	-
新潟県	-	-	11	0.18	1	0.02	68	1.13	-	-	3	0.33	-	-	2	0.15	10	0.77
富山県	-	-	3	0.10	-	-	23	0.79	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	-	-	-	-	9	0.31	-	-	1	0.14	1	0.20	1	0.20	2	0.40
福井県	-	-	-	-	-	-	110	5.00	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17	2	0.33
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	10	0.40	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	3	0.05	-	-	49	0.89	-	-	5	0.45	-	-	1	0.09	3	0.27
岐阜県	-	-	2	0.04	1	0.02	123	2.32	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	-	-	100	1.16	-	-	8	0.40	-	-	1	0.10	7	0.70
愛知県	-	-	11	0.06	2	0.01	252	1.38	-	-	19	0.54	-	-	1	0.08	12	0.92
三重県	-	-	2	0.04	-	-	38	0.84	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	2	0.06	-	-	30	0.91	-	-	2	0.29	-	-	2	0.29	4	0.57
京都府	1	0.01	-	-	-	-	67	0.88	-	-	11	0.61	-	-	1	0.17	1	0.17
大阪府	1	0.01	24	0.12	-	-	255	1.31	2	0.04	13	0.27	1	0.07	1	0.07	2	0.13
兵庫県	-	-	7	0.05	-	-	83	0.65	-	-	18	0.51	-	-	-	-	2	0.17
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	44	1.26	-	-	3	0.33	-	-	1	0.17	2	0.33
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	48	1.55	-	-	4	1.00	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	1	0.05	-	-	3	1.00	-	-	1	0.20	2	0.40
島根県	-	-	5	0.22	-	-	4	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	7	0.13	-	-	28	0.52	-	-	6	0.50	-	-	-	-	14	2.80
広島県	-	-	12	0.16	-	-	98	1.31	-	-	17	0.85	-	-	1	0.05	12	0.63
山口県	-	-	8	0.16	-	-	59	1.20	-	-	3	0.33	-	-	-	-	15	1.67
徳島県	-	-	-	-	-	-	7	0.30	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	42	1.31	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	1	0.03	-	-	48	1.23	-	-	8	1.14	-	-	1	0.17	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	18	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.33
福岡県	-	-	5	0.04	-	-	289	2.41	-	-	22	0.85	1	0.07	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	91	3.96	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	14	0.32	2	0.25	7	0.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	3	0.06	-	-	99	2.02	-	-	8	0.89	-	-	1	0.07	3	0.20
大分県	-	-	2	0.06	-	-	18	0.50	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	15	0.41	-	-	54	1.46	-	-	6	1.50	1	0.14	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	28	0.50	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	1	0.03	5	0.15	-	-	17	0.50	-	-	15	1.50	-	-	-	-	3	0.43

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年49週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	-	-	789
北海道	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	12
秋田県	-	-	-	-	32
山形県	1	0.10	-	-	16
福島県	2	0.29	-	-	85
茨城県	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	9
埼玉県	-	-	-	-	30
千葉県	1	0.11	-	-	20
東京都	-	-	-	-	39
神奈川県	-	-	-	-	35
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	9
福井県	-	-	-	-	20
山梨県	-	-	-	-	...
長野県	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	21
愛知県	-	-	-	-	60
三重県	-	-	-	-	21
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	95
兵庫県	-	-	-	-	14
奈良県	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	12
鳥取県	-	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	64
山口県	-	-	-	-	30
徳島県	-	-	-	-	22
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	52
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	10
大分県	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	7
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

**定点把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県( ... )が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第49号 平成16年12月17日発行  
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報( 厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。